

（１）基本理念・基本方針

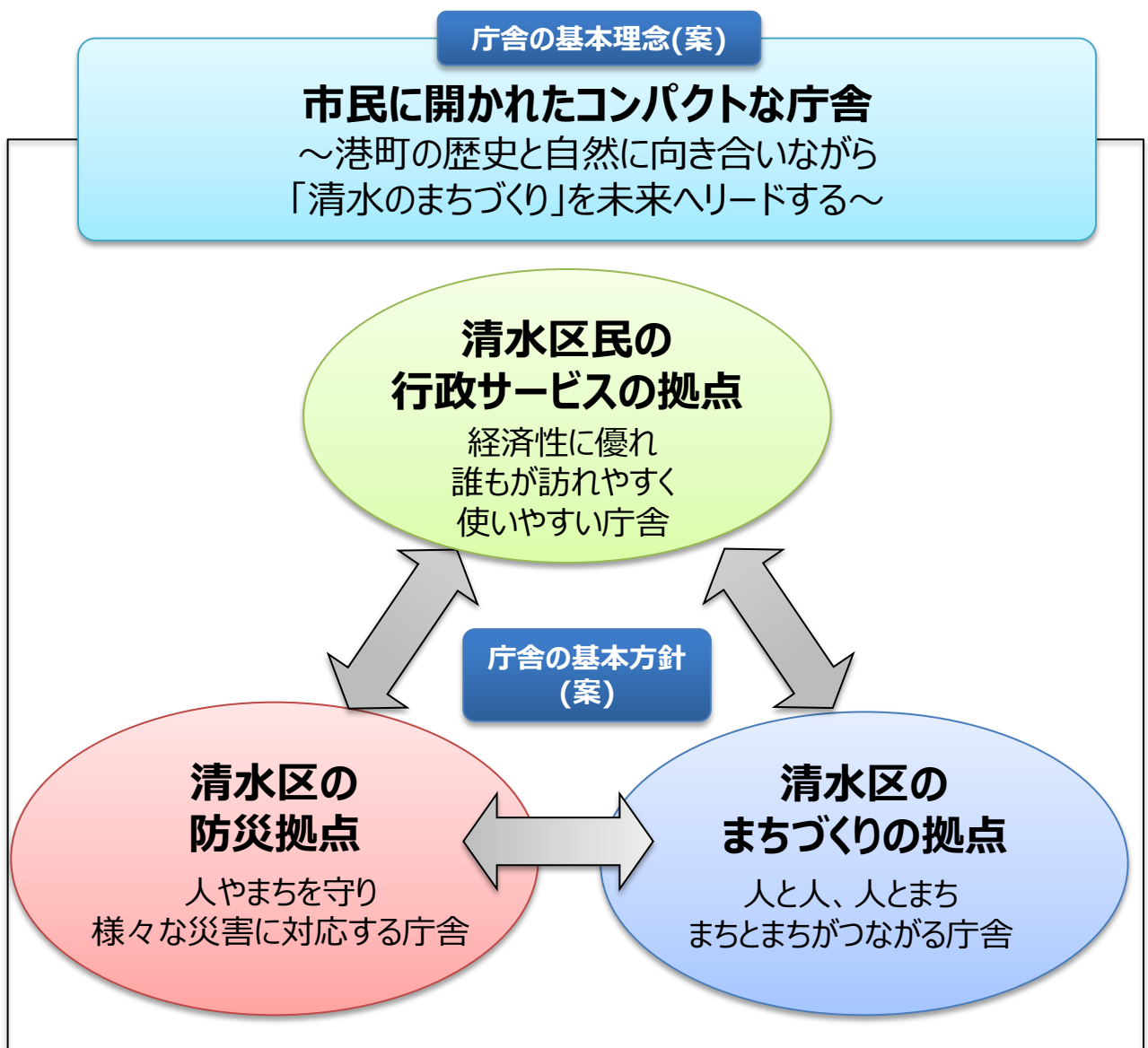
基本理念は、庁舎のあり方についての基本的な考え方を示すものであり、基本方針はその理念を達成するための考え方を示すものです。

清水庁舎は、まず第一に行政サービスを提供するとともに、行政の使命である、市民の皆さんの命、暮らし、そしてまちを守るという役割を持ちます。

清水は古くから港と海によって賑わい、発展してきており、海とともに生きてきた反面、津波等の災害リスクは避けられません。これらの歴史と自然に向き合いながら未来に向かってのまちづくりを進めるにあたり、清水区に置く庁舎は、災害に強い防災拠点でありながらも、まちづくりの拠点であることが重要と考えています。

そこで、この庁舎が、市民が様々な活動を行うためのきっかけづくりの場となるとともに、職員がまちに飛び出して、「人」や「まち」と積極的に関わりを持ち、市民と協働して清水のまちを創っていくことを目指します。

その結果、庁舎をとりまく周辺地域の新たなまちづくりが促され、さらには民間開発が誘発されることを期待します。このことを踏まえて、以下のとおり基本理念と基本方針を掲げます。



(1)「清水区民の行政サービスの拠点」

基本方針 1

清水区民の行政サービスの拠点

経済性に優れ、誰もが訪れやすく使いやすい庁舎

【基本的な機能分類】

①ユニバーサルデザイン

【目指すべき具体機能・方策イメージ】

- 階段やEVなど移動空間における配慮
 - ・ 移動のしやすさ、段差の解消、身障者対応EV設置など
 - ・ 誘導、案内サインの工夫、充実
- トイレなど行為空間における配慮
 - ・ 多目的トイレ、乳幼児への対応、キッズコーナー、授乳室
- 誰もが利用しやすい駐車場
 - ・ 車いす利用者、高齢者、妊婦などへの配慮

②分かりやすく手続きしやすい
窓口機能

- 総合案内など分かりやすい窓口案内機能
 - ・ 分かりやすい窓口サイン
- 窓口の集約配置など手続き軽減への配慮
 - ・ 関連窓口の集約配置
- 安心して利用できる窓口環境
 - ・ カウンターの工夫、個室相談室などプライバシー配慮
 - ・ 快適な待合スペース、モニターによる情報提供などの配慮

③機能的かつ効率的な
庁舎機能

- 機能的な執務環境の構築
 - ・ 部門連携のしやすい機能的な執務室レイアウト
 - ・ 来庁者、職員専用エリアなどのセキュリティゾーニング
- 将来変化・経済性への配慮
 - ・ コンパクトで機能の充実した庁舎、長寿命化などの工夫
 - ・ 組織変更等に対応しやすいオフィスレイアウト
 - ・ メンテナンスや設備更新のしやすさ、維持管理費の軽減などのLCCに配慮した施設計画
- 循環型社会に対応した機能
 - ・ 自然採光・通風、次世代エネルギーなどの活用
 - ・ 高効率照明、空調等省エネ設備の積極導入

④利便性の高い交通アクセス
機能

- 公共交通の利便性向上
 - ・ バスや鉄道による来庁に配慮した立地
- 駐車場・駐輪場の利便性向上
 - ・ 駐車場・駐輪場の台数確保、配置・動線の工夫
- 歩行者の安全に配慮したアプローチ空間
 - ・ 来庁者の動線に配慮した出入口設置

2 庁舎が目指す機能「基本方針を実現するための機能」

(2)「清水区の防災拠点」

基本方針 2

清水区の防災拠点

人やまちを守り、様々な災害に対応する庁舎

【基本的な機能分類】

①災害に強い建物構造

【目指すべき具体機能・方策イメージ】

■ 耐震性能の確保

- ・ 防災拠点としての機能を発揮する耐震性能を確保
- ・ 非構造部材、設備の耐震性確保
- ・ 液状化対策

■ 津波・浸水被害の抑制

- ・ 想定される最大規模の津波に耐える設計
- ・ 重要設備を上層階に設置
- ・ 地下フロアを設けない階層構成
- ・ 漂流物対策

②災害時の業務継続機能

■ 庁舎のライフラインのバックアップ

- ・ 非常用発電設備の充実
- ・ 電力引込の二系統化
- ・ 中水の活用
- ・ 耐震受水槽

■ 復旧活動のための機能

- ・ 電子ファイルのバックアップ
- ・ 通信回線の多重化
- ・ 活動のしやすい工夫（部門配置、車両動線等）

■ 区災害対策本部機能

- ・ 迅速で確実な指揮命令を行う本部機能
- ・ 防災情報・通信システムの構築

※津波警報発令時は、清水消防署を代替本部とする。

③ウォーターフロントからの 一時避難者支援機能

■ 災害時の避難者の一時受入機能

- ・ 海辺に訪れている人々、働く人々の緊急避難の場
- ・ 公衆無線LAN、公衆電話などの災害時における一般開放による情報伝達手段の提供

■ 地域の防災力の向上

- ・ 津波避難における他の周辺施設との連携
- ・ 地域の手本となる災害に強い庁舎

2 庁舎が目指す機能「基本方針を実現するための機能」

(3)「清水区のまちづくりの拠点」

基本方針 3

清水区のまちづくりの拠点

人と人、人とまち、まちとまちがつながる庁舎

【基本的な機能分類】

①人と人をつなげる機能

【目指すべき具体機能・方策イメージ】

■ 市民が集まり活動できる交流・コミュニティスペース

- ・ 庁舎会議室などの有効利用による、誰もが使える交流空間づくり（市民活動、自治会活動など）
- ・ 庁舎ロビー・ホールなどの多目的利用による人々が出会い、つながる場づくり

②地域資源を活かし エリアの価値を高める機能

■ 観光・都市交流支援機能

- ・ 静岡市（清水区）・交流都市の地域資源の紹介や観光案内を提供できる情報コーナー
- ・ 夜間、休日などの駐車場の有効活用

■ 外部空間や周辺施設と連携した機能

- ・ 周辺施設とつながる歩行者動線の確保
- ・ 官庁施設の集約や民間施設との連携による利便性の向上（シビックコアの形成）
- ・ まちの既存ストックの活用やリノベーションによるサテライトオフィスの設置などを踏まえたまちづくりの戦略拠点機能

③市民の暮らしに 溶け込む機能

■ 気軽に憩い、過ごせる空間づくり

- ・ 海や富士山を楽しみながら何気なく過ごせる空間づくり
- ・ 市民が気軽に訪れ、様々な活動につながる開かれた空間づくり

■ 民間運営による、誰でも利用できる利便機能

- ・ カフェテリア、レストラン、コンビニエンスストアなどの店舗
- ・ ATMコーナー、自販機コーナー